

2026年6月5日
株式会社日立製作所

日立、Anthropic が推進する AI を活用したセキュリティプログラム「Project Glasswing」に参画

Claude Mythos Preview を活用し、日立の社会インフラ向けソフトウェアのサイバーセキュリティを強化

株式会社日立製作所(以下、日立)は、このたび、Anthropic PBC(以下、Anthropic)が推進する AI を活用したセキュリティプログラム「Project Glasswing」^{*1}に参画する契約を締結しました。「Project Glasswing」は、世界で最も重要なソフトウェアの保護と、AI の進化に伴い業界に求められるサイバーセキュリティの実践を前進させることを目的とした共同イニシアチブです。

本契約により、日立は、先進的な AI モデル「Claude Mythos Preview(クロード ミュトス プレビュー)」(以下、Mythos)へのアクセス権を付与され、エネルギー分野をはじめとする社会インフラ向けに日立が提供するソフトウェア・プロダクト自体のサイバーセキュリティ強化に活用します。

*1 2026年6月2日 Anthropic 発表: [Expanding Project Glasswing](#)

日立は、グローバルに展開する IT・OT(制御・運用技術)・プロダクトから得られるデータと、110年以上にわたり培ってきたドメインナレッジを融合し、フィジカル AI の社会実装を通じた社会インフラの革新に取り組んでいます。AI が実社会のインフラや現場に深く入り込むほど、極めて高い安全性と信頼性が不可欠となることを背景に、日立は先日、エンタープライズ領域での豊富な実績を有する先進的な AI モデル Claude を提供する Anthropic と戦略的パートナーシップを発表^{*2}し、両社協業のもと、フィジカル AI の安全な社会実装に向けた取り組みを開始しました。

*2 2026年5月19日 プレスリリース: [日立、Anthropic と戦略的パートナーシップを締結し、先進的な AI の活用により Lumada 3.0 を強化](#)

本契約は、上記の協業に加えて、AI によるサイバー防御能力の向上および世界各国の重要インフラの保護をめざす「Project Glasswing」において、日立が参画企業の1社として貢献するものです。日立の Cyber CoE^{*3}は、Mythos を活用し、エネルギー分野をはじめとする社会インフラ向けに日立が開発・保守するソフトウェアの脆弱性の特定と修正に取り組みます。この取り組みを通じて、安全・安心でレジリエントな社会インフラの実現に貢献していきます。

*3 日立のサイバーセキュリティ専門部隊

日立製作所について

日立は、IT、OT(制御・運用技術)、プロダクトを活用した社会イノベーション事業(SIB)を通じて、社会インフラをデジタルで革新し続けるグローバルリーダーをめざし、環境・幸福・経済成長が調和するハーモナイズドソサエティの実現に貢献します。デジタルシステム&サービス、エネルギー、モビリティ、コネクティブインダストリーの4セクターに加え、新たな成長事業を創出する戦略 SIB ビジネスユニットの事業体制でグローバルに事業を展開し、Lumada をコアとしてデータから価値を創出することで、お客さまと社会の課題を解決します。2025年度(2026年3月期)売上収益は10兆5,867億円、2026年3月末時点で連結子会社は606社、全世界で約29万人の従業員を擁しています。詳しくは、www.hitachi.com/ja-jp/をご覧ください。